

1. 適用対象事業所の概要

当社は、下記の国内4事業所及び蘇州惠普聯電子有限公司を環境管理の管理組織体と称して、5管理組織体毎に、事業活動、製品及びサービス領域における環境マネジメントシステムの確立、運用管理、監視、改善活動を継続的に推進し、環境パフォーマンスの向上に努めています。

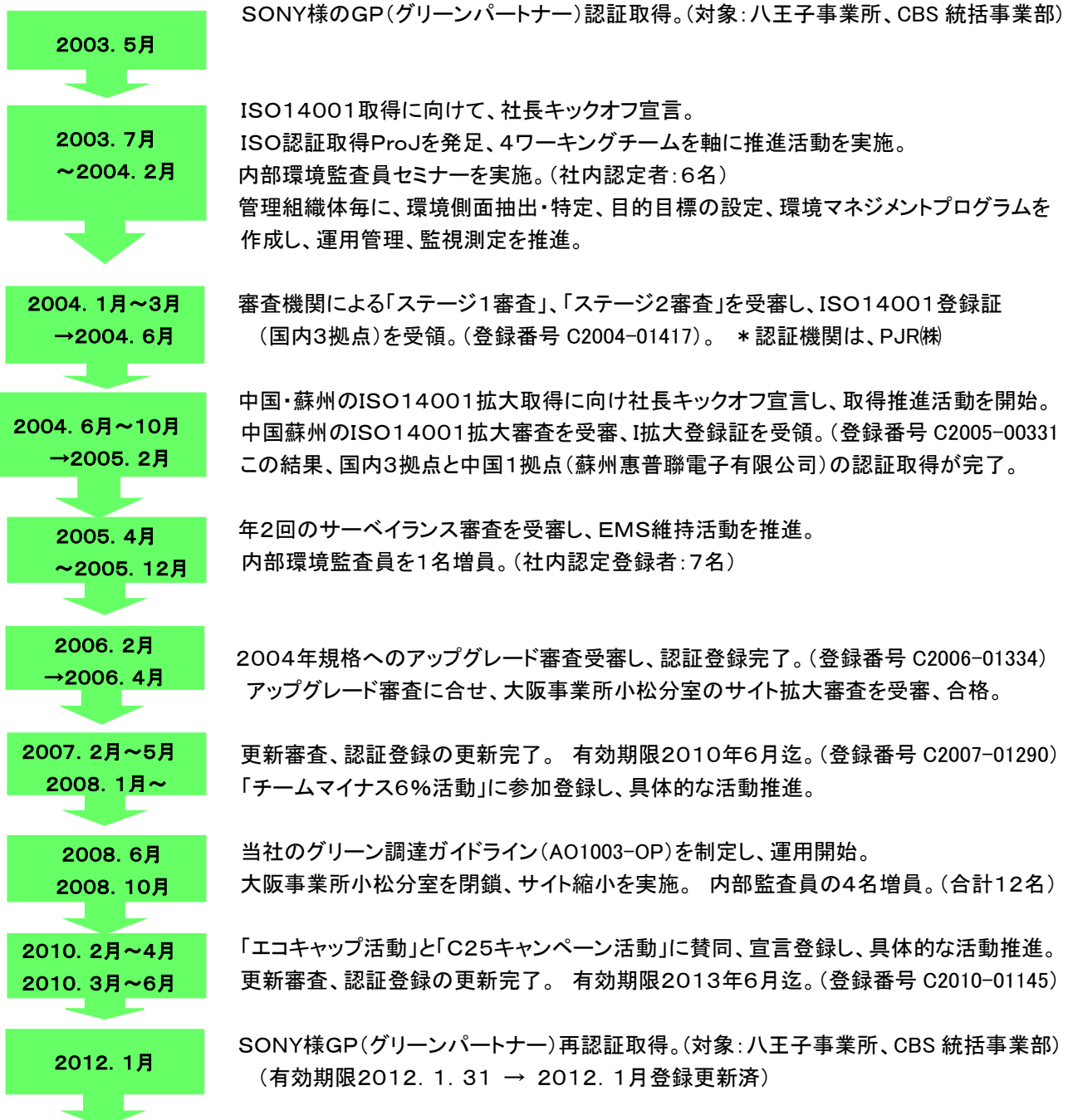
また、当該年度は、新たな2015年要求規格への適合管理体制整備と環境マネジメントシステムへの運用管理活動を推進し、外部審査機関(BSI-GJ)の移行審査を受審し、新規格の認証登録が完了しました。

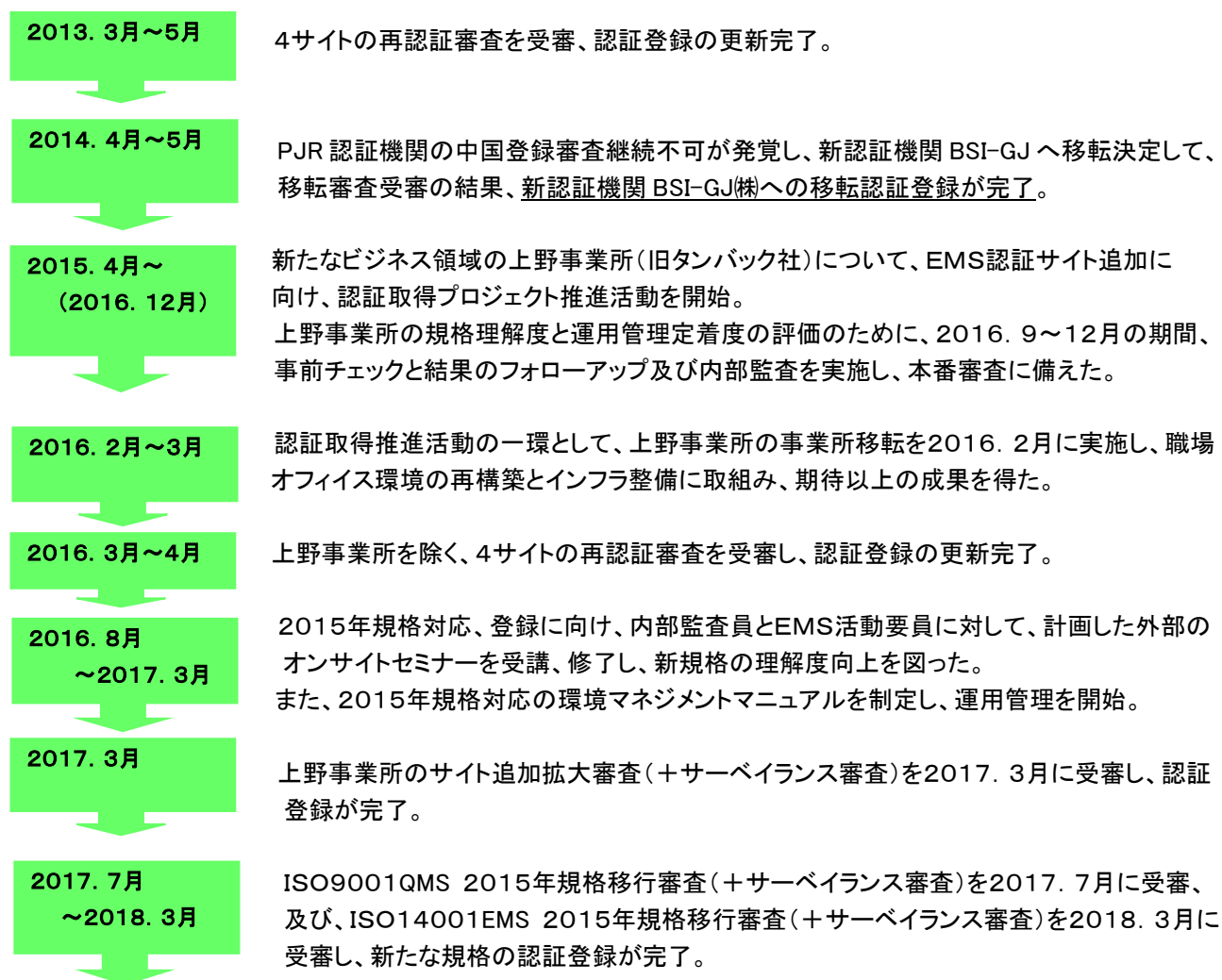
[適用事業所]

- a. 本社・八王子事業所
- b. 入間事業所
- c. 大阪事業所
- d. 上野事業所
- e. 蘇州惠普聯電子有限公司(中国江蘇省)

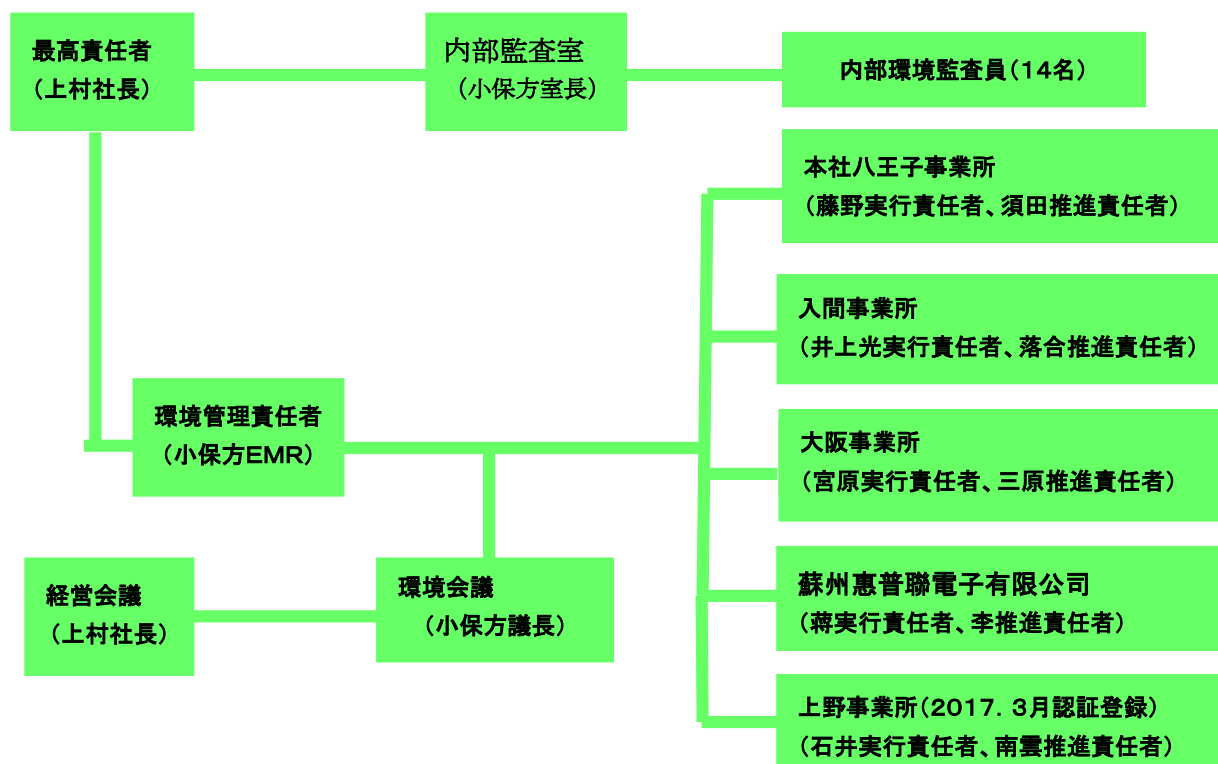
2. 環境保全への取組み

1) 環境活動の歩み





2) 環境管理組織(2017年度)



3) 環境方針(2017年度)

環境方針

環境理念

私達は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題の一つであることを認識し、地球環境保全と将来の世代の夢が守られる持続可能な社会の義務にむけ、積極的に貢献を行ってまいります。

環境方針

1. 産業用コンピュータシステムに関する事業活動を通じ、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量、有機溶剤消費の削減を行い、環境負荷の軽減に努めます。
2. 環境配慮設計及びグリーン調達に取組み、有害物質の使用を避け、RoHS適合製品の提供を推進（鉛フリー等）し、有益な環境側面の創出に努めます。
3. 継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
4. 法規制、顧客要求・その他要求事項を順守し、環境保全を推進します。
5. 環境目的、目標を設定、運用管理、監視・測定し、必要に応じて見直しを実施します。
環境パフォーマンスの向上のため、定期的なレビューを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善活動を推進します。
6. この方針は文書化し、実行維持し、全従業員と当社のために働く人に周知徹底します。
また、社外からの人々の要求に対して、開示します。

制定 2017年 04月 01日

エブレン株式会社 代表取締役社長 上村 正人

4) 方針、目的目標及び活動実績の概要

2017年度のISO14001EMS活動は、新たな規格の2015年規格のマネジメントシステムの適合、運用定着活動と有益な環境側面の創出を含めた環境パフォーマンス向上活動へ継続的に取組みました。

特に2015年要求規格のポイントとなる、「組織の状況、リーダーシップ、リスク及び機会への取組み」について、意識的に取組み、推進を行っています。

推進のポイントは従来同様、継続的に、1つは法規制と同意するその他要求事項の順守活動、2つ目はお客様へ環境に配慮した製品の提供及び製品の規制物質などの有害含有物を削除、削減を行い、RoHS指令等に適合した製品創出活動、3つ目は快適な職場環境の改善実現活動及びオフィス環境の負荷低減、減量、維持管理活動です。

本年度も環境省のCOOL CHOICE活動に登録し、「スーパークールビズ活動」と「ウォームビズ活動」を継続的に推進し、電力使用量の削減及びCO2の削減に努め、今期も電気料金抑制に取組み、成果(2007年比)を得ました。ただし、電気料金の抑制活動は、売上高大幅増加に伴う工場稼働率アップにより前年比増加となってしまうが、売上高増加率の半分以下に抑制されており、管理された状態の運用が継続されています。

また、今期も滞留資産のトレンド管理、分析を行い、発生抑制の継続的改善に取組み、徐々に増加抑制活動の具体的な成果が得られるようになりました。

併せて、継続的に廃棄物の処理費用発生から有価物としての売却化に取り組み、プラスの成果を得ました。

引き続き、著しい環境側面を踏まえ、有益な環境側面の創出活動を軸にした環境管理への取組みを経営方針の1つとし、事業活動との融合を図り、環境管理費用の低減と環境保全活動を推進しております。

5) 2017年度の実績評価

①改善推進テーマ

推進テーマ	管理組織体	目標値	実績値	判定	達成率
有益な工場環境の実現 (モデル工場)	HHdiv	8.0件の改善実行[5S維持管理]	8件改善完了	○	100%
	HHdiv	4.0件の改善実行[安全環境配慮製造ライン]	4件改善完了	○	100%
	HHdiv	24.0件の改善実行[変種変量製造ライン]	30件改善完了	○	125%
	IPlant	8.0件の改善実行[生産性快適な工場環境]	8件改善完了	○	100%
	Odiv	24件の改善実行[有益な工場環境]	25件改善完了	○	104%
	Odiv	12件の改善実行[作業業務効率]	12件改善完了	○	100%
	SSdiv	24件の改善実行[オフィス環境改善]	24件改善完了	○	100%
RoHS対応製品の供給	SZE	部品24件以上[含有物調査]	31件完了	○	129%
不良資産の発生抑制	SSdiv	12件の改善実行[資材調達方式改善]	18件改善完了	○	150%
仕損じ撲滅活動	HHdiv	600,000円以下	497,975円	○	83%
	IPlant	150,000円以下	78,431円	○	52%
	Odiv	120,000円以下	1,767,857円	×	1473%
	SSdiv	840,000円以下	148,254円	○	18%
	SZE	22,000円以下	17,438円	○	79%

②継続監視テーマ

推進テーマ	管理組織体	監視基準値(125%)	前年実績値	実績値	前年対比率	判定
資源枯渇抑制 (電力使用量)	HHdiv	183,894kWh以下	147,115kWh	164,291kWh	112%	△
	IPlant	80,315kWh以下	64,252kWh	77,392kWh	120%	△
	Odiv	116,119kWh以下	92,895kWh	107,642kWh	116%	△
	SSdiv	49,473kWh以下	39,578kWh	41,607kWh	105%	△
	SZE	21,080kWh以下	16,864kWh	17,832kWh	106%	△
資源枯渇抑制 (最大需要電力)	HHdiv	83kw	64kw	74kw	89%	○
	IPlant	63kw	47kw	63kw	100%	○
	Odiv	86kw	80kw	82kw	95%	○
	SSdiv	103kw	101kw	89kw	86%	○
資源枯渇抑制 (電力料金)	HHdiv	3,902,026円以下	3,121,621円	3,518,346円	113%	△
	HHdiv	1,924,890円以下	1,539,912円	849,142円	55%	○
RoHS対応製品の供給 (鉛フリー化推進)	HHdiv	21.68kg以下	17.34kg	19.20kg	111%	△
	Odiv	6.25kg以下	5.00kg	1.00kg	20%	○
	SZE	0.00kg以下	0.00kg	0.00kg	100%	○
資源枯渇抑制 (ガソリン)	HHdiv	11.51km/ℓ以上	14.39km/ℓ	14.85km/ℓ	103%	○
	HHdiv	5.48km/ℓ以上	6.85km/ℓ	7.06km/ℓ	103%	○
	IPlant	9.62km/ℓ以上	12.02km/ℓ	11.54km/ℓ	96%	△
	Odiv	13.02km/ℓ以上	16.28km/ℓ	16.80km/ℓ	103%	○
	Odiv	7.76km/ℓ以上	9.70km/ℓ	10.05km/ℓ	104%	○
資源枯渇抑制 (用紙)	HHdiv	323,125枚以下	258,500枚	283,500枚	110%	△
	SSdiv	33,750枚以下	27,000枚	19,000枚	70%	○
	SZE	30,000枚以下	24,000枚	23,500枚	98%	○
資源枯渇抑制 (水道)	HHdiv	420m ³ 以下	336m ³	350m ³	104%	△
	IPlant	86m ³ 以下	69m ³	72m ³	104%	△
	Odiv	290m ³ 以下	232m ³	254m ³	109%	△
	SSdiv	196m ³ 以下	157m ³	154m ³	98%	○
資源枯渇抑制 (廃棄物、有価物)	HHdiv(一般)	450.0kg以下	360.0kg	530.0kg	147%	×
	IPlant(一般)	200.0kg以下	160.0kg	150.0kg	94%	○

Odiv(一般)	1,225.0kg以下	980.0kg	1,640.0kg	167%	×
SSdiv(一般)	687.9kg以下	550.3kg	332.5kg	60%	○
HHdiv(産業)	3,765.0kg以下	3,012.0kg	3,872.0kg	129%	×
IPlant(産業)	4,087.5kg以下	3,270.0kg	4,785.0kg	146%	×
Odiv(産業)	0.0kg以下	0.0kg	0.0kg	100%	○
SSdiv(産業)	875.0kg以下	700.0kg	0.0kg	0%	○
Odiv(ダンボール)	3,800.0kg以下	3,040.0kg	4,280.0kg	141%	×
HHdiv(有価)	-	300.4kg	1,137.0kg	378.5%	-
IPlant(有価)	-	1,176.0kg	4,795.0kg	408%	-
Odiv(有価)	-	1,910.0kg	2,370.0kg	124%	-
SSdiv(有価)	-	340.0kg	87.0kg	26%	-
SZE(有価)	-	11,145円	17,175円	154%	-

③電力使用量とCO2削減成果(スーパークールビズ活動/ウォームビズ活動、2007年比)

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	国内計	※SZE	Gr.計
削減電力量(KWH)	86,949	66,136	57,694	11,379	222,158	5,698	227,856
削減経費(円)	2,362,441	1,774,789	1,557,296	299,736	5,994,262	162,062	6,156,324
削減CO2(Kg)	43,127	32,803	28,616	5,644	110,191	2,826	113,017

④前年(2016年)比、電気料金の削減成果＝増加！

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	計
2016年電気料金(円)	3,121,621	1,485,186	2,377,742	772,148	7,756,697
2017年電気料金(円)	3,518,346	1,785,561	2,713,648	883,844	8,901,399
電気料金抑制金額(円)	+396,725	+300,375	+335,906	+111,696	+1,144,702
電気料金抑制率(%)	+12.7	+20.2	+14.1	+14.5	+14.8

⑤3R活動の成果

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	計
全体排出量(kg)	5,539.0	9,580.0	8,290.0	419.5	23,828.5
有価物分別量(kg)	1,137.0	4,795.0	2,370.0	87.0	8,389.0
有価物割合(%)	20.5%	50.1%	28.6%	20.7%	35.2%
有償換金(円)	153,823	69,780	99,574	2,271	325,448

⑥エコキャップ収集活動の成果

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	計
収集量(Kg)	7.2	6.4	11.6	25.2
収集量(個数)	3,096	2,752	4,988	10,836
ワクチン(人分)	3.6	3.2	5.8	12.6
削減CO2(Kg)	23	20	37	80

6) 外部審査と内部監査の結果

審査、監査の区別	外部審査	内部監査					
		国内4部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	SZE
対象部門	国内4部門						
監査期日	18. 03	17. 11	18. 01	17. 10	17. 12	17. 12	18. 2
監査結果(不適合/要観察)	1件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/1件	0件/0件	0件/0件	0件/0件
改善機会コメント/Good point)	14件/9件	3件/1件	2件/0件	2件/0件	2件/0件	1件/0件	1件/0件

7) 2018年度の主な取り組み事項、テーマ

- a. 2015年規格での再認証審査を2019年3月に受審し、新規格の認証登録継続に努めます。
- b. 賛同した“COOL CHOICE”や各種エコ活動を推進します。(Sクールビズ活動、ウォームビズ活動の定常的推進)
- c. 本社八王子地区における“モデル工場化”活動を継続し、より具体的な目標と施策、到達点を明確にした活動に進展させ、その成果を他事業所に有効展開を図り、継続的に環境品質パフォーマンス向上に努めます。
- d. 資源枯渇に着眼し、滞留資産の発生抑制と生産財の無駄な廃棄の監視・改善活動を継続推進します。
- e. 環境管理費用の管理方法の調査、情報収集及び低減活動を継続的に推進します。